

生物多様性のだ戦略（素案）に対する意見募集の結果について

パブリック・コメント手続によって寄せられた意見と市の考え方は、次のとおりです。

1 政策等の題名

生物多様性のだ戦略（素案）

2 意見の募集期間

平成27年1月6日（火）から平成27年2月4日（水）まで

3 意見の募集結果

①提出者数・意見数	2人	12件
②提出方法	直接持参	0人 0件
	郵送	1人 11件
	FAX	0人 0件
	Eメール	1人 1件
③政策等に反映した意見		5件

4 意見の概要と市の考え方

No.	意見の概要	市の考え方	案の修正
全体			
1	生物多様性と言いながら「コウノトリ」だけを特別扱いしていることには矛盾があるのではないかと。 特定の種を特定した施策は馴染まないうえに危険であると考えます。	生物多様性の取組の推進は、誰でも知っており、希少性が高いシンボルが必要であると考えています。コウノトリは生物多様性のシンボルとしての取組であって、生物多様性の推進における施策の一つであり特定の種の保存を目指すものではありません。コウノトリのような水辺の大型鳥類が棲める環境は、生物多様性が育まれる環境と考えております。 以上のことから素案の修正は行いません。	修正無し
2	表記や書式の不統一が散見されるので、修正された方がよいでしょう。 ・「子供」と「子ども」、「爬虫類」と「ハ虫類」等、の表記	ご意見を反映し「子ども」「爬虫類」等、表記や書式の統一をします。	修正有り

No.	意見の概要	市の考え方	案の修正
	・ 文体の不統一 ・ 読み仮名のフォントの大きさ		
3	他の文献やウェブサイトから引用した図表については、出典を明示すべきです。例えばP.6の図なら「環境省のウェブサイト（ホームページ、HP）から引用」と明記すべきですし、可能であればURLも示すとより親切だと思います。	ご意見を反映し、引用図表の出典について、わかりやすく明示します。 なお、URLについては、変更される可能性もあるため示しておりません。	修正有り
4	いきなり「HP」「RDB」が出てくると、何のことか分からない方もいるので、「HP」は「ホームページ」、「RDB」は「レッドデータブック」の略であることを、初出時に表示したほうがよいと思います。	ご意見を反映し、初出時に略語の説明を明記し、「レッドデータブック」は略語を使用せずに、そのまま表示するよう統一します。	修正有り
5	図表はキャプション（タイトルや説明文）を付け、全体（または章ごと、節ごと）の通し番号を振ることが望ましいと思います。 図表にキャプションが付いているものといないものが混在していますが、どちらかに統一すべきだと思います。個人的にはすべて付けるようにして、全体（または章ごと、節ごと）の通し番号を振るとよいと考えます。	図表のキャプションについては、出来るだけ明示していますが、挿絵や重複する部分については省略しています。 通し番号については、図表のすぐそばで説明していることから振っていません。	修正無し
第1章 戦略策定の背景と目的			
6	（6）生物多様性地域戦略策定により期待される効果		
	P. 8 「みどりのふるさと」として、ひらがな表記の「みどり」が初出しますが、「緑」と何が違うのか、疑問に感じます。その後も「みどり」は頻出します。P. 29に初めて定義が出てきますが、最初に定義を示すべきです。	ご意見を反映し、「みどり」の定義として、初出のP. 8に※「みどり」は、水や緑地など野田市の特性である豊かな自然を表す。」と記載します。	修正有り
第2章 野田市の現状と課題			

No.	意見の概要	市の考え方	案の修正
	2-3 生物多様性の現状と課題 (4) 自然環境調査による現状と課題		
7	P. 49-50 ビオトープタイプと指標種について、P. 49 の説明文も、P. 50 の表も、何を基準にどのように選定したのか、あるいは何から引用したのか、全くわかりません。もう少し丁寧に説明していただくと有り難いと思います。	ビオトープタイプの説明文に分かりやすいように番号を付けます。 また、指標種の選定については、環境調査の結果をもとに、生物多様性検討委員会の中で選定していただいたことの説明を追加します。	修正有り
第3章 戦略の理念と行動計画			
	3-3 計画の期間		
8	P. 62 目標期間を国家戦略に合わせて2020年にしたことはよく理解できますが、こんな短期間で大丈夫でしょうか？窮屈ではありませんか？あえて国家戦略には合わせずに、もう少し先にしても良いと思いますが。	野田市では既に生物多様性の保全に取り組んでおり、また、本文中にもあるように、生物多様性の取組は、今すぐ始めることが重要であり、そのことによって将来の子供達に豊かな自然環境を引き継ぐために自然環境の再生を早期に達成したいという思いは変わらないことから、素案の修正は行いません。	修正無し
	3-4 野田市の目指す将来像		
9	コウノトリはシンボルとしては大変よいと思います。 コウノトリの保護増殖については、市長自らがイニシアチブをとって積極的に進めている事業なので、戦略のシンボリックな位置づけにするのは、アピール性もあって大変よいことだと思います。	今後もコウノトリをシンボルとした生物多様性の取組を推進してまいります。	修正無し
10	水域を中心とした環境保全・再生に力を入れられているのがよい。 「水のコリドー（回廊）」という発想が素晴らしいと思います。	今後も水路や河川等をつなぐ水系エコロジカル・ネットワークの保全や再生を図ってまいります。	修正無し
	3-5 行動計画—生物多様性を実現するための具体的取組と目標		
11	外来種対策がやや弱いように感じます。特定外来生物としては利根運河や江川地区にはカミツ	外来種対策につきましては、国や県の主導のもと取り組んでおりますが、適用種や対応について	修正無し

No.	意見の概要	市の考え方	案の修正
	キガメがいますし、国道１６号の分離帯にはオオキンケイギクも見られますので、その駆除対策について、もう少し強調して良いように思います。	は慎重に検討する必要があると考えております。ご意見については、今後の戦略の改訂の参考とさせていただきます。	
12	「野田市貴重な野生動植物保護のための樹林地の保全に関する条例」に基づき、江川地区を最重要エリアとしていますが、どうしても「江川地区＝コウノトリ」というイメージが強くて、コウノトリの陰に隠れて、せっかくの保全事業も目立たない気がします。今回はもう間に合わないでしょうが、見直し時には江川地区だけでなく、もう何箇所か追加することをご検討いただけないでしょうか。例えばアンケートで「守り残していく必要のある野田市の自然」で最上位にランクした清水公園と旧座生沼地域をひとまとめにした地区、また千葉県自然環境保全地域等適地調査(千葉県環境部自然保護課, 1986) で選定された五駄地区(調査地点５)や島新田地区(調査地点６?)などが候補になると思います。	生物多様性の取組の推進には、誰でも知っており、希少性が高いシンボルが必要であると考えています。コウノトリのイメージが強いとのご意見ですが、生物多様性のシンボルとしての取組であって、生物多様性の推進における施策の一つであり、まずは拠点の江川地区の保全を最重要エリアとしますが、他の地区についても保全に努めてまいります。コウノトリのような水辺の大型鳥類が棲める環境は、生物多様性が育まれる環境と考えております。ご意見については、今後の戦略の改訂の参考とさせていただきます。	修正無し